

モニタリング結果報告書

施設 神奈川県立音楽堂
 指定管理者 公益財団法人神奈川芸術文化財団
 施設所管課 県民局くらし文化部文化課

(平成22年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	5月17日	改善すべき業務等なし
5月	6月10日	6月17日	改善すべき業務等なし
6月	7月12日	7月20日	改善すべき業務等なし
7月	8月10日	8月17日	改善すべき業務等なし
8月	9月10日	9月17日	改善すべき業務等なし
9月	10月8日	10月18日	改善すべき業務等なし

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

利用日、利用開始時間の柔軟な設定

<実施状況>

利用希望がある休館日を臨時開館とした(4日実施)。

準備などで通常の開館時間前に利用希望があった場合は、8時台に開館し対応(計11回実施)。

<提案内容の概要>

音楽堂の設置目的と歴史を深く理解し、ノウハウ等を活かした事業企画の実施を提案した。

- ①音楽堂の特性とノウハウ等を活かした企画事業の実施
- ②鑑賞型の公演に付随したアウトリーチ・プログラム等の実施
- ③外部資金確保の努力

<実施状況>

①神奈川国際芸術フェスティバル3公演実施。夏の普及型公演を実施。

4月 音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ アンネ＝ゾフィー・ムター ヴァイオリン・リサイタル
 入場者数 960名(チケット完売)

5月 クラシックな休日を in 音楽堂 入場者数 808名

6月 スウェーデン放送合唱団 入場者数 981名(チケット完売)

8月 大野和士のオペラ・レクチャーコンサート 入場者数 972名(チケット完売)

子どもと楽しむ夏・音楽堂 仲道郁代ピアノコンサート 入場者数 933名

上記を含む自主事業6演目9公演(アウトリーチ及び公開リハーサルを含む)、共催事業12演目19公演を実施。

②主催公演に関連したアウトリーチ、音楽堂での公開リハーサルを実施。

特に6月実施の「スウェーデン放送合唱団」では神奈川県が合唱の盛んであることから、県合唱連盟や指揮者クラブの協力を得て関連企画の「指揮者セミナー」(参加432名)「公開リハーサル」(参加182名)を実施した。この他、終演後の交流会、ロビーサイン会等を実施

6月 子どもと楽しむ夏・音楽堂 のアウトリーチ(仲道郁代)

横浜市立下郷小学校体育館 入場者数 600名

公演の制作過程や当日の様子等をホームページブログ「音楽堂日記」で情報提供。

③芸術文化振興基金より計370万円の助成金獲得を内定。平成22年度文化庁「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」に「子どもと楽しむ夏・音楽堂」他2事業が採択。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	261,601	188,659	34,000	38,942	259,935	1,666
上半期計 (a)	124,367	89,152	15,740 (16,940)	19,474	109,655	14,712
下半期計 (b)						
4月	9,778	7,516	2,054 (1,126)	207	4,334	5,444
5月	21,790	18,447	3,293 (3,219)	49	22,933	△1,143
6月	28,384	18,110	1,630 (2,070)	8,644	24,650	3,734
7月	16,334	12,616	3,705 (4,473)	12	19,955	△3,621
8月	22,437	11,120	2,405 (2,453)	8,911	16,631	5,806
9月	25,644	21,343	2,650 (3,599)	1,651	21,152	4,492
合計 (a+b)	124,367	89,152	15,740	19,474	109,655	14,712

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

利用料金収入(2,570千円)、チケット収入等の文化事業収入(4,280千円)等による収入増約6,850千円と、文化事業費の広告費の節減(3,100千円)等の経費節減により収支差額が14,700千円となっている。

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・トイレの数が少ない、増設してほしい（6件）	トイレ増設工事を実施後は、トイレ数が多くなった、またきれいになったという声が増えている。混雑時は、引き続き客用トイレ内に案内整理の人員を配置し、対応している。
	・座席が狭い(21件)	建築構造上、座席幅の改修は難しいが他の改善方法が無いか調査中。
	・空調が良くない（4件）	引き続き催し物や入場者数に応じて空調・換気の微調整により対応。
	・エレベーター・エスカレーター設置、バリアフリー（2件）	構造上、エレベータ、エスカレータの設置などの改修が難しいため、人的サポートで対応。
	・楽屋への階段が急過ぎる（2件）	建築構造上、変更改修は難しい。
	・全体的にみすぼらしい、古い（2件）	小修繕や清掃等で館内の清潔感を保つように努めている。
職員対応	・舞台スタッフの対応が親切、以前よりスタッフの対応が良い（10件）。	引き続き、きめ細やかな対応を心掛ける。
事業内容		
その他	・駅からの道が分かりづらい（3件）	HP等、駅からのアクセス方法や地図などに不明慮な点がないか再確認しつつ改善した。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
7月19日	80代の女性が客席内で階段を踏み外し、ふくらはぎをくじき、そのはずみでふらつき頭部を床にぶつけた。救急車を呼ぶ事態には至らず、事務所で保冷剤を貸し出すなど対処。翌日病院へ行き検査を受けたがひびや捻挫もなく、本人の希望もあり保険の対応はしなかった。

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		該当なし。	

9 上(下)半期の所見等

〔1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。〕

指定管理者

- ・昨年度に引き続き、施設維持管理、一般貸し出し、自主共催事業など順調に業務は遂行されている。
- ・アンケートなどで利用者や来館者からの声を伺うと、建物や設備についてのご意見を頂くことが多い。老朽化が進む施設で、日々何かしらの小破修繕事項が発生している状態であるが、利用者及び来館者の安全を第一に考え、計画的に施設設備の修繕等を行っていく。建物の構造上対応が難しい問題もあるが、その中で少しでも快適な空間を提供できるよう、人的なサポートを含め今後も努めていく。
- ・学校関係者や一般の方の利用が多い施設であることから、熟練された舞台スタッフや職員が利用者の立場に立った対応を丁寧に行った。今後も空き日等の情報提供の方法を工夫し、更なる利用率の上昇に努める。

施設所管課

- ・主催公演のチケットが完売となるなど、県民の鑑賞ニーズの把握に努め、満足度、事業収入の向上をはかる姿勢が効果として現れている。
引き続き、水準の高い公演を実施し、県民に良質な文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、高い芸術性を有する新しい舞台を創造し発信していただきたい。
- ・開館から50年を超える老朽化が進む施設であり、引き続き、施設・設備の保守・点検について万全を期し、来場者等の安全、安心が確保できるよう留意して管理・運営にあたっていただきたい。
施設・設備面での制約を踏まえつつ、音響の良さや建築学的価値から特別な芸術空間として広く親しまれている音楽堂という中規模ホール施設の特性を活かした管理運営に努めていただきたい。
- ・老朽化に伴う、施設・設備類の改修、修繕、更新は、県と指定管理者で、検討・協議を行い、両方で課題を整理し、施設・設備の改修等を実施する必要がある。
- ・今後も、多様化する施設利用者、来場者の要求に応え、利用率、利用者数、利用料金収入の向上に努めていただきたい。